

令和2年度農業科のまとめ(活動の記録)

喜多方市立上三宮小学校

コロナウイルス感染症対策による臨時休業や活動の制限などがあった今年度。特に春の作業は例年通りには実施できませんでしたが、農業科支援員のみなさんの協力を得ながら畑の耕耘、稲の種まき・田植え等を行っていただきました。第1回目の緊急事態宣言解除後は、感染症対策をしっかりと行いながら、支援員・保護者・ご家族のみなさんのご協力をいただきながら、児童主体の活動を行い、食への感謝の気持ち、友だちと協力すること大切等を学ぶことができました。

1 春の作業(土作り、種まき、苗植え等)



緊急事態宣言中に予定されていた作業については、農業科支援員のみなさんに依頼し、職員も一緒に行いました。児童は週1回設けられた登校日に野菜の苗植えや種まきをしました。

2 夏の作業(除草、夏野菜の収穫等)



外部の方との共同作業を行わないこととした1学期は畑の手入れを自分たちで行いました。また、春に植えたピーマン、トマトなどの夏野菜がたくさん実り、収穫の喜びを味わいました。



3 実りの秋(稲刈り、棒かけ、脱穀、収穫祭、しめ縄づくり等)



稲刈りから乾燥、脱穀までの作業を昔ながらの方法で体験しました。収穫した野菜は、収穫感謝祭で感謝しながらいただきました。

また、稲わらを使って、しめ縄づくりも行いました。今年は一連の作業を全学年で行い、作業の手順を知っている上級生が下級生に教える姿も見られました。



